

慈恵会グループの2専門学校 神戸総合医療専門学校・松江総合医療専門学校

医療法人社団 慈恵会新須磨病院 理事長 院長／神戸総合医療専門学校 理事長
学校法人 澤田学園 松江総合医療専門学校 理事長 澤田勝寛



2023年、慈恵会グループでは、2つの専門学校、神戸総合医療専門学校が設立50周年、松江総合医療専門学校が設立25周年と、節目の年を迎えられました。現在どのような状況なのでしょう。グループ代表の澤田勝寛理事長にお話を伺いました。

「両学校の周年、おめでとうございます。改めて経緯などを教えてください。」

神戸総合医療専門学校は、1973年に設立しました。放射線技師不足と看護師不足を解消するために、私の父である先代理事長が摩耶埠頭の摩耶業務センタービルの3階・4階に設立した神戸放射線技師専門学校が始まりです。その後、土地開発された須磨区に移転して、今に至ります。学科は変遷しましたが、現在は診療放射線科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視能訓練士科、臨床工学士科、歯科衛生士科、臨床工学専攻科の8学科で、看護学科の進学コースは需要が

減ったので閉科しました。現在の学生数は約700名です。11年前に先代理事長が亡くなり、以後私が理事長を引き継いでいます。卒業生は8500人を超え、関西を中心に全国で活躍しています。

松江総合医療専門学校は、1998年に、元神戸市の助役だった松江市の宮岡市長から熱心な誘致を受け、介護福祉科1科で開校しました。高齢化の進む松江市の将来を見据えての誘致でした。その後、科の変遷があり現在は理学療法学科、作業療法学科、看護学科の3学科で運営しています。卒業生は2500人を超え、松江市を中心に山陰の病院や施設で活躍しています。地域の人口減少により学生募集には苦労しています。

**学生の募集には
対面で校長先生や
進路指導の先生、
生徒たちに
説明することが大事**

進学高校の進路指導では、まず大学に進学させることが重要なようです。私は年に2回、春と秋に地元で学校訪問をしてきました。新型コロナウイルス感染症が広まってから3年くらいできていなかったところ、少し高校との関係性が薄れてきたように感じました。そこで今春から高校訪問を再開しました。

学校訪問に理事長が行くと、校長先生が対応してくれます。松江市内、出雲、境港、米子の4圏域で20校くらい回っています。国家試験の合格率が低いのではないかと質問されることがありますが、本校は国家試験の合格率を上げるために留年させるようなことはせず、できるだけ学生を卒業させるようにしているの

で、合格率が下がる時もあると説明をしています。不合格でも卒業後1年間指導するとほとんどの学生は合格しています。このようにきちんと説明すると理解していただけると思います。対面で話をさせてもらうことが大事であると実感しています。

この6月には、隠岐島文化会館で出前オープンキャンパスも開催したところ、25名の高校生が参加してくれました。



隠岐での出前オープンキャンパス

**繰り返し伝えたい
「医療は本当にいい仕事」**

いつもよく学生に言っていることは「医療は本当にいい仕事である」ということです。①医療従事者はエッセンシャルワーカーであり、世の中がどんな体制になっても失うことのない仕事ですから安定しています。

②高校生の卒業後の選択肢は、働くこと、大学に行くこと、そして専門学校に行くことです。本校のような医療系専門学校は目的も目標もはっきりしています。医療の目的は目の前の人を助けることです。体や心を病んだ人の体や心を癒すことです。そして、本校の一番の目標は学生を、国家試験を通すことです。

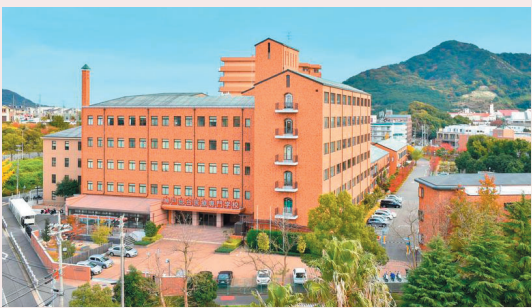
③患者さんに感謝されることは、自分にとって大きな喜びになります。人間の満足には心の満足、頭の満足、体の満足があります。中でも一番大事なのは心の満足です。自分が必要とされたり、自分のしたことが感謝されたりすることは、非常に嬉しいことです。医療は、日々の仕事の中で、そういったことを感じられる良い仕事です。

常にメッセージを発信することが大事だと考えていて、学生だけではなく、オープンキャンパスに来てくれた高校生や、先生方に、月1回、メッセージや学校のニュースを伝える「かわら版」を送らせてもらっています。

**健康とまちづくり
地方創生は
ファープルに学ぶ？**

人口減が進む松江市のような地方都市の地方創生のためには、医療・介護・教育をまちづくりの中心にするのがいいのではと思っています。

医療は女系社会です。医療系の学校もやはり女系だと言えます。看護師はその典型でしょう。地元で育てて、地元の病院に就職して、そこで結婚して子どもを産んで家族ができる。ファープルによれば、若い雌がいるコロニーは滅びないのだそうです。つまり若い女性がいる都市は滅びない。医療も介護も女性がいなくては成り立たない仕事です。女系の医療系の学校があれば、そこを中心に女性が地元で仕事をし、結婚して、家族ができて、松江に定住します。アメリカのメイヨークリニックを中心にしたような街づくりのイメージです。地方都市でも進学と就職を充実させれば人口が増加する可能性があります。



神戸総合医療専門学校



松江総合医療専門学校

◆**医食同源
フェスティバル**(in松江)
松江総合医療専門学校と松江栄養調理製菓専門学校との合同イベント「医食同源フェスティバル」を8月21日、松江駅前の松江テルサで開催しました。

理学療法士、作業療法士、看護師、栄養士、調理師、製菓衛生師が、各々ブースを設けて、実際の現場でどのような活動を果たしているかを、一般市民の方に見ていただきました。またシミュレーター人形を使った「チーム医療の実践」というデモンストラーションを行い、私は医師の役を演じました。上定松江市長や松江市市会議員の方々もお見えになり、大盛況のイベントとなりました。(新須磨病院内報ひとり新聞「年輪」8月21日号より)



◆**医療法人社団 慈恵会**
神戸総合医療専門学校
兵庫県神戸市須磨区友が丘7-1-21

◆**学校法人 澤田学園**
松江総合医療専門学校
島根県松江市上大野町2081-4